



保育園からこんにちは

うんどうかい

なかざわあいちゃん(6歳 曲坂)
越原保育園



No. 333 63/10

広報 ひがししらかわ

■発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神戸548番地
■☎(05747)8-3111・内線26 ■印刷 森田喜下品町 下島印刷株式会社

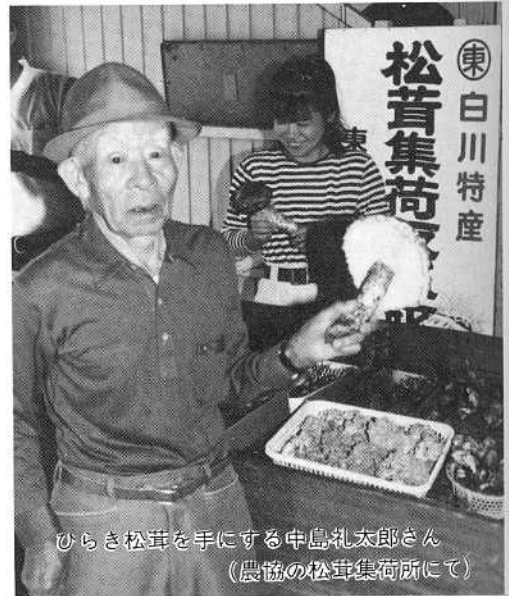
あきさめ 秋雨前線が通っていった

9月24日から25日へかけての秋雨前線による雨は、通算で171ミリ。

平の高橋で見た白川の水は、今までの最高だった昭和43年の8・17豪雨に匹敵するものでした。

この時期の雨は、品質の良いことで知られる東白川松茸の発生に、微妙な影響を与えるといえます。

高嶺(値)の花とはいいながら、今年の相場が気になります。



ひらき松茸を手にする中島礼太郎さん
(農協の松茸集荷所にて)

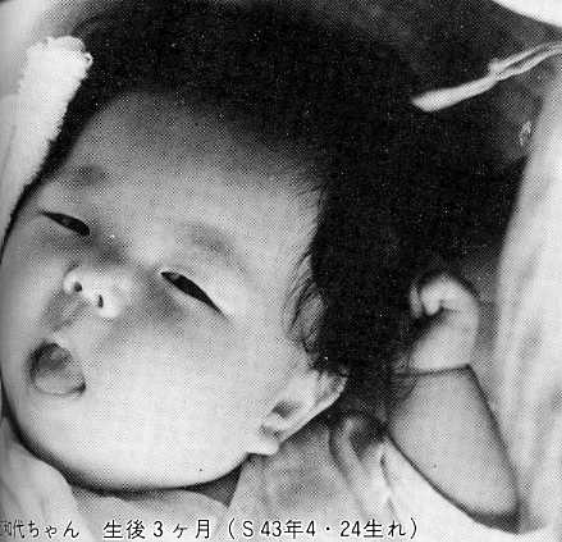


人口の動き

—9月末住民登録人口から—
世帯数……………919世帯
人口……………3,566人
転入……………11人
転出……………5人
出生……………3人
死亡……………2人

先月と比較して7人増
昨年と同月と比較して7人減

今にも橋桁につきそうな濁流(9月25日・高橋にて)



四代ちゃん 生後3ヶ月 (S43年4・24生れ)
720年後、右下の写真を御覧ください。

いのちを 育んで 20年

東白川母子健康センター

村の人たちから「母子センター」と親しまれている、東白川村母子健康センターは、今年で開所してから20周年を迎えました。

開所以来、このセンターが育んできた尊いいのちは千五百人を超え、この十月も五人の出産が予定されているということです。小さないのちの誕生の瞬間から、心温まる人間のドラマが始まります。

あの時の赤ちゃん、もう二十

東白川母子健康センターが開

所したのは、昭和四十三年四月一日、四月八日にはもう始めての出産がありました。

平の安江秀太郎さん 銀子さんご夫婦の長男 敏之君です。

十七日には同じ平の安江益美さん、きよみさんの三女みはるちゃん。

二十四日に陰地の安江克巳さん、京子さんの長女和代ちゃん。

この三人を含めて、この年に生れた七十六

人の赤ちゃんたちは、母子セン

ターと同一年の二十歳を迎え、

社会の中で立派に自分の役割りを果しています。

敏之君は現在名古屋の専門学校に在学中で、将来東白川村で不動産の仕事を始めるとのことです。和代さん(写真上と右下)は村内にお勤めですが、「結婚して子供ができたら、必ず母子センターで出産します」と力強く宣言してくれました。そうすれば母子二代の母



二十歳 青春真っ盛りの
安江和代さん (63・10・15) 陰地

子センターっ子ということで、助産婦さんたちも今から楽しみに待っています。

出産といえば、産婆さんを頼んで自宅分娩という時代を過ぎて、昭和三十年代に入ると、村外にある産院を利用する人が多くなりました。

ところが、未改良のガタガタ道は陣痛の始まった母体を刺激し、産院へ着く前に生れてしまったケースなど、村内に安心し

て出産できる施設が無い不安が婦人のあいだに高まってきました。こうした切実なお母さんたち

の願いが母子健康センターを生み出したのです。

開所当時は、八人の嘱託助産婦の活躍で、毎年百人を超える出産のお世話をして来ましたが、それから二十年、出産の数は年ごとに減少し、ここ数年は五十人を少し上回る利用実績となっています。

誰れでも利用できる安心施設

出産の数は減っても、命の尊さは変わりありません。

村内十六万円、村外十七万円という、村外医院などに比べて四割も低い費用と、下呂温泉病院との連携で、安心して、誰にも、安く利用してもらおうという姿勢の中で、東白川母子健康センターは、今日も小さな命の灯を守っています。

千五百三十人目の誕生

十月四日、中通の安江和代さん(29)が、予定日より数日早く陣痛が進み、午前十時に分娩室へ入りました。

一人目は、希望通り女の子を出産できたので、二人目はなんとか願いが叶って男の子が授かれればと、お母さんの期待を神様にあずけての出産です。

時計の針が午後一時二十三分を差したとき、力強い第一声が



ほら、男の子ですよ

聞こえて来ました。

二千八百五十五グラム、母子センターが開所してから千五百三十人目、そして見事お母さんの期待に添えて、頼もしい男の子の誕生です。

助産婦の安江とくよさんに抱かれた赤ちゃんは、元気に泣きながらお母さんと初対面です。

開所以来二十年間、この母子センターに勤めている安江とくよさん(68)は、この瞬間ほど、人間の尊さと、母親の愛情を強く感じる時はないと言います。

助産婦さんの仕事は超重労働です。

出産後赤ちゃんは、沐浴をして、体重、身長、胸囲を計り、お母さんのからだを休め、母乳が出るまでの一昼夜、新生児室に付き切りとなります。

助産婦さんは嘱託員ですから、宿直明けの休みはありません。赤ちゃんと産後のお母さんの監視は一睡もできないほど緊張の連続です。

赤ちゃんによっては寝つきが悪い子がいて泣き声がお母さんに聞こえると、ほったらかしているのではないかと心配すると思ひ、抱いてコタツにあたったり、赤ちゃんが二人いるときは、交互に泣く子をあやすうちに、まったく寝られないこともたびたびあるといいます。

Eコーが胎児を見守っている

母子センターでは、帝王切開の手術は行いません。つまり、正常に分娩出来る人だけこちらへ来てもらい、異常がある人は、病院へ行ってもらうようにしています。

これは、妊娠中に初期・中期・末期の三回にわけて超音波断層写真(Eコー)で診察をすると、胎児の発育状態とか位置、胎盤の状態が確認できるためです。

正常と認められた人でも、分娩中に異常が認められた場合は下呂温泉病院の医師と連絡、万全を期しています。

今は各市町村に保健センターが設置されるところが多くなっていますが、これは妊娠中の定期的な検診が主で、分娩の設備は無く、

助産婦も常駐していません。

東白川母子健康センターの良さは、妊娠中から助産婦さんが相談にのり、母親といっしょになっていのちを育てる、ふれあいう産産ともいふべき完全看護のシステムにあります。

このセンターで出産された、愛知県稲沢市の伊藤静子さんは「ほんとうに良くしていただきまして。初産のころはまだ若くて不安がいっぱいでした。

東白川の友達に紹介していただったので助産婦さんも知らない人ばかりでした。でも出産後に産室を何度ものぞいていただき初めて合った私に、子供の顔を見ながら世間話をしていただき、胸を打たれる思いがしました。

お蔭で二人の子供も無事出産

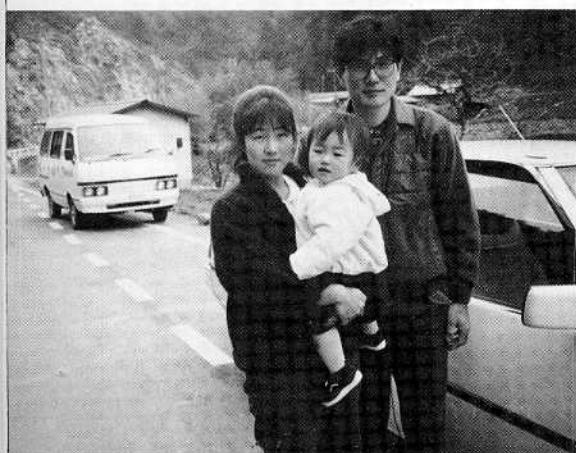
でき、今それぞれ受験勉強に追われています。夫が加子母の出身ですので、いつも母子センターの前を通る度に、ここがあなたたちの産まれたところよ。と車窓ごしに話しています。

以前はよく立ち寄らせていただきましたが、いつも時間がなくて寄れません。またゆつくりと遊びに寄らせてもらいます。」と感想を寄せて下さいました。

東白川母子健康センターはこのような、村外の人でもわけへだてなくお世話します。

ここで出産した遠い村外の人から、毎年たくさん年賀状が届いて、出産後もふれあいが続いています。

あけましておめでとうございます



ことしよろしくお願ひ申し上げます
昭和63年 元旦

おかげさまでこんなに大きくなりました。

寒さ厳しい折、皆様もお体に気をつけてお過ごし下さい。

〒635

奈良県大和高田市市場794-1

中町マンション A-202

☎(0745) 23-1767

杉田正和・智美

西洞 樋口利夫さん長女智美さん(才)



母子センターへ

寄せられた言葉

白川町 安江貞子さん

「他の産婦人科にはない、マンツウマンのふれあいがとてもいいです。子供を産んでからの食事で、卵が生で食べなかったのので、残していたら、目玉焼にしてあげよか」と言っていただきお言葉に甘えました。

また、おかげが足りないですよ、と自分で漬けられた漬物を持ってきてくださいました。ほ



この木もあの柳もつつじも、もう二十年たちました。

昭和四十三年、木の香も新しいこのセンターで生れた赤ちゃんは、もう成人式を迎えました。

自分の老いを忘れて新しい者の成長をよろこび、毎年四月に配られる児童生徒名簿を壁に貼り、みんなの成長を見ていると、どの子も自分の子のように錯覚になります。地球上に人類のある限りお

昭和

四十三

年に母子センターが開設された当時はまだ若く、これからだど張り切って勤務するようになってもう二十年が立ちました。

家庭の事情があり思うよう



んとくに文字通りの完全看護です。

最近何かとエスカレートして

産はあるでしょう。

昔も今も妊娠分娩の仕組みに変わりはないはずですが、昔と生活様式も違い、文明の利器ともいえる車社会になると、どうしてもお腹の赤ちゃんは大変です。

そのせいか、臍帯巻絡、切迫早産、流産などが昔より多く見られるように思います。

初めての妊娠、分らないことがあれば一人で悩むより相談して下さい。お母さんといっしょになって、赤ちゃんのためにがんばります。それが母子健康センターです。

助産婦 安江とくよ

には勤められなかったものの元気に生れた赤ちゃんの声にはげまされてここまで来ることができました。

これからは若い助産婦さんの力で、いつまでも続けて下さい。

助産婦 田口千春

がよいと思います。

安くても、お金に変えられないやさしさがここにはあるから。

子供もお蔭様で十八歳になりました。又機会を見ながらご紹介させていただきます。

平 安江銀子さん

「偶然お産で入院したときが母子センター開所第一号でした。退院するまでの間、新しい建物にたった一人で入っており、何か申し訳けない感じでしたが、静かな中にも、温かい雰囲気があり、産後の私をやさしく包んでくれました。

もの珍しさが手

伝ってか、身内で

「オギヤー」と分娩室に第一声が

桜峠を佐見から東白川母子センターまで、何回運んでいただきましたことやら、春夏秋冬二十年間、今さらながら時の流れの速さに驚いています。

良き時期

に、良き所に、良き施設を作っていただき、私如き者に声をかけて



助産婦 安江富貴子

ない人や近所の人それに看護婦さんまでが赤ちゃんを見に来てくれました。

一人目の子は、白川町の産院で産みましたが、出産ブームですごく混雑しており、出産後の休養など楽に出来たものではありませんでした。

また、母乳が出なかったのですが何の処置もしてもらえず、結局出ないままになってしまいました。しかし二人目のときは母乳が出るように処置をしていただいたお蔭で、長男の敏之は全部母乳で育てることができました。私も、母子センターの母乳主義に大賛成です。

響く。この瞬間の母親の顔は、本当に美しい。そして私たち助産婦も「ホッ」とする一瞬である。

を母子センターで出産しました。病院にはない暖かい雰囲気が好きです。

今年二十周年を迎えた母子センター、県下でも分娩を取り扱う施設がほとんど無い現状ですが、ここまで無事故でこられたのも、ここに携わってみえた人たちのご努力のおかげです。

ここで働くようになって二年足らず、母子の生命を預かる責任の重い仕事ですが、母子センターで出産して本当に良かった、と言われるようにがんばりたいと思います。

私自身も九月二十日、三人目

助産婦 野村末子



我が運動会 大集合



かわいらしい鼓笛隊パレード ゆり・ぼら組

越原保育園運動会



太鼓のリズムに合わせて



息が合ったラストシーン ヤァー！

小学校運動会



間伐材を利用したヒノキの入場門



大きな大きなタルマ 落さないようにネ！



時代をタイムスリップしたユニークなザ・太鼓



球夕が一位

神土保育園運動会



障害物競技ネットを通過



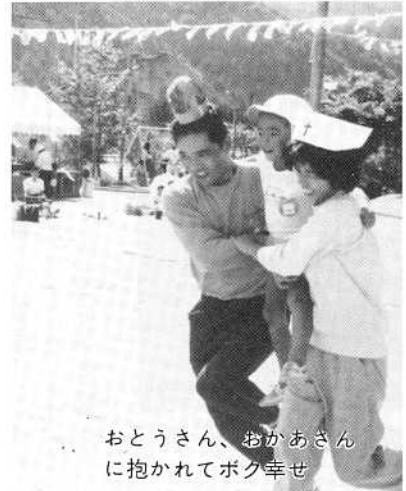
おとうさん、おかあさん頑張っね



ファイナレを飾ったフオークダンス



ピーポー ピーポーが来たよ



おとうさん、おかあさん
に抱かれてボク幸せ

五加保育園運動会



行進も元気よく、花笠わっしょい！

明るい光

さぎ

刈取り実演会 ●



見学に来った神付の皆さん

倒伏した稲にも威力発揮

水稲の機械化営農を進めるため農協営農指導課では、稲の刈り取りがたけなわとなる、九月二十一・二十二日の二日間にわたってコンバインの刈り取り実演会を行いました。今年は「百年に一度、観測史上初めて」といわれる異常気象が発生し、村でも水稲作付面積の約十六割に当たる十三畝の水稲が、イモチ病・倒伏などの被害を受けたうえ、降り続いた雨で田はバインダーすら寄せつけないほどぬかるんで農家の手を煩わせていた矢先、コンバインは農家の沈んだ心をときほぐすように、その活躍ぶりを披露してくれました。

今回の実演会は、二十一日に黒潮、日向、二十二日に神付、中谷と村内四か所の水田で行われ、対象となった品種はコシヒカリとフクヒカリの二種類。

いずれも基盤整備の済んだほ場で行われたものの、敷までコンバインのキヤタビラが入ってしまっほどのぬかるみと、根元から折れ曲がった稲とあって、見学に訪れた農家の皆さんも、最悪の刈り取り条件下で興味津

津たるものがあり、真剣そのものでした。

十アール二十分・はざ掛け不要

今回の実演には、二つのメーカーのコンバインが用意されました。どちらも四条刈で、刈り取った藁をコンバイン内部に納めるか袋につめるかの違い。幅一・七畝、長さ三・九畝もある大型のコンバインも、基盤整備後のほ場ではとても小さく見え

似合っていました。

機械の能力は、フル回転して十アール（一

反歩）当たりを約二十分で



コンバインの性能を細かく診断

刈り取るという驚異的なもの。しかし、からむように捻倒れした稲はさすがに手こずらせたものの刈り取りは無難なく済み、わずか一時間遅れの好タイムでした。刈り取った藁は、長いパイプで直接車の荷台に入れられました。これで、現在行っている刈り取りとはざ掛けが一度に済まされたこととなります。そして適正な水分量に調整す

るために、加舎尾の安江成喜さん宅へ乾燥に持ち込まれました。コンバインの導入意向高まるノ見学にみえた皆さんも「うち

の稲もついでに刈ってくれ」とコンバインの魅力を絶賛。それもそのはずで、現在総農家戸数五百十八戸の内九十四戸を兼業農家が占め、しかも水稲の販売金額が五十万円以上という農家はわずか七戸しかありません。

ほとんどの農家は、稲作に生活を依存していないということです。少しでも早く作業を切り上げて本業に専念したいからです。その裏付けとなる数字として、今年の水田作業を機械化営農組合へ委託した農家は、代かき二百三十戸（五十八割）、田植二百十四戸（五十四割）と年々増え続けているのです。



向イススイもみかるぬるを思わ



（神付）倒れたコシヒカリにむから



へトラック直接は田から取った藁刈り▲

農作業

●コンバイン

ライスセンター設置急務

こうした農作業を委託する傾向は、兼業化が進むに従って更に伸び続けることと思われま。今後、コンバインが導入されたとすれば、刈り取り作業を委託する農家が増えることは、まちがいないでしょう。

昨年十一月、ライスセンター設置について意向調査が行われ、それを裏付ける結果が出ていま

す。「コンバインに作業委託をするか」という問いでは、解答者三百七十八人のうち六十五割の人が「利用する」と答えており、この数字は基盤整備が進むにした



根元から折れ曲った稲



中通 安江好弘さん

うな時代が来るやろうの「お」と、稲作の転換期に近いことを語ってみえました。ところで、若い人の考え方はどうなのでしょうか。

提供された神付の早瀬たつきさん(写真左上)も「こんだけ稲が倒れても染々刈り取り、しかも仕事が早いときているから兼業農家にとっては願ってもない機械でしょう」とコンバイン導入を前向きに考えてみました。

忙しい大工仕事の合間をみてはぎ掛けをしていた中通の安江好弘さん(30歳「写真右上」)はこう答えてくれました。「田植からはぎ掛けまで、稲の作業といえば技術よりも労力のウエイ

最後に残る課題は、乾燥・糶すり調整の機械化です。そのための施設→ライスセンター

お、結局農業以外で稼がんと生活できんわ。いくら金がかかってもライスセンターまで作ってやるよ

水稲経費の比較表

10a当りの水田にかかる経費を、農作業を委託しなかった場合と一部を委託した場合、そして将来の姿「全面委託」をした場合を比較してみました。(肥料・農薬・苗代は含まれていません。)

区 分		全面委託	一部委託	無委託
機械化作業委託	耕起	4,500	4,500	33,300
	代かき	6,500	6,600	
	田植	5,500	5,500	18,700
水25%のライスセンター利用料	コンバイン刈り取り	13,000	52,560	52,560
	刈り取り	13,440		
計		42,940	69,060	104,560

■戸籍の窓 九月「敬称略」
誕生おめでとう
ございませす

おくやみ 申しあげます

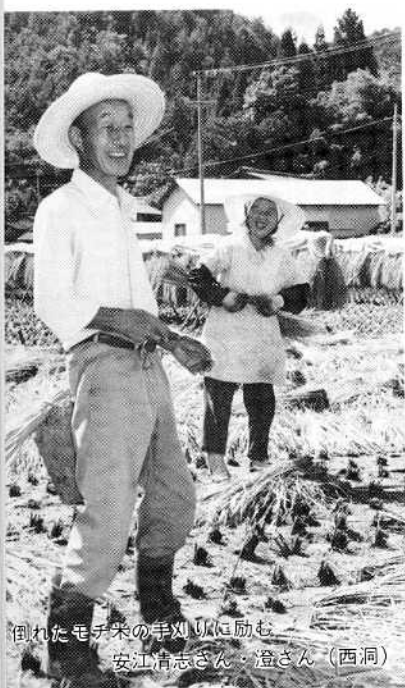
（陰地）稲垣 進 美緒（二女）
（柏本）野村 孝 文裕（二男）
（下野）田口 和隆 彩香（長女）
文字

安江 やゑ 74歳（中通）
今井 ため 89歳（中通）
■善意の寄付「敬称略」
【社会福祉寄付金】

現金二十万六千四百九十九円—匿名・現金十万円—安江美枝（長瀬）・現金五万円—鈴木志老（陰地）・現金十万円—安江正男（日向）
【東白川小学校へ】
口腔照射拡大検視鏡六十個—熊崎道一（平）



神付 早瀬たつきさん



倒れたモチ米の手刈りに励む 安江清志さん・澄さん（西洞）

の設置については、アンケートでも七十一割の人が近い将来のうちに利用したいと答えています。

耕起から刈取り、乾燥、糶すりまで一貫した機械化体系を進めるうえで新しい稲作への転換を告げた実演会となりました。

歴史の証言・立村百年の記録（第七話）



電気の無い時代のこととて、夜はあかし（松のヤニの満ちた部分）やろうそくの灯りのもとで熱演が繰広げられました。開演当日ともなれば、村人たちは朝から気もそぞろ、まだ陽も高いというのに酒や弁当をひっさげて見物に繰り出します。

戦い敗れてはるかに炎上する鶴ヶ城を拝み、飯盛山の露と消えんとする白虎隊の少年たち……涙のラストシーンにもらい泣きする観客席、今年も九月二十三日、東白川中学校体育館で郷土歌舞伎公演が行われました。

三味線クラブ、木屋会、民謡クラブ、民謡教室、かじか合唱団の皆さんによる芸能まつりを堪能したあと、白虎隊秘聞 飯盛山時雨の熱演が涙を誘ったのです。

今年で十二回目の公演

東白川村歌舞伎愛好会による郷土歌舞伎公演は、今年で十二回目となりますが、会場となっ



85歳の最長老安江正史さん(神付)と、可愛い小学生の小僧たち(良弁杉子安由来、63年)

た中学校体育館には、かつての神田座の引幕(右の写真)が使われ、郷土歌舞伎ファンの中には遠い昔を思い起した人も多かったことでしょう。

郷土歌舞伎のルーツは、江戸時代から広く各地に伝えられて来た地芝居または地狂言で、娯楽に乏しい当時の農村では、お祭りの余興や収穫の秋の慰安として、村人たちが競って熱中したということでした。

この頃は芝居小屋のことを、一般に「舞台」と呼んでおり、村内各地にはそのころの名残りである舞台跡がのこっています。中でも現在の神田神社の東横手の空地は、いまでも舞台屋敷と呼ばれています。

村中総出の芝居見物

昔は舞台といっても、空地に小屋掛けした臨時のもので、屋根はよしず張り、観客も野天にこもを敷いて見物するというもので、興行は晴天の日に限って行われました。

ひとつに結ばれる舞台と観客
むらびと
大根も千両も皆んな村人

郷土歌舞伎100年のあゆみ

ほど良い酒の勢いも手伝って芸の上手な者には「千両」と大声で声援を送り、出来の悪い人には「大根」とヤジったり幕の間には隣りの席と酒を酌み交わし、「舞台」全体が村人たちの一大コミュニケーションの場となります。

村芝居の醍醐味は、演ずるも村人、観るも村人、観客も舞台も渾然一体となつて、幕の閉け閉めにつられて時が過ぎていくその雰囲気にあつたのです。小屋掛けの時代を過ぎて、明治初期ごろから、本格的な舞台が造られるようになりました。



神田座の楽屋入りする
中村鷹次郎(昭和二十五年)



戦後、平和の訪れた村の娯楽の殿堂として神田座は活況を呈し、昭和二十四、五年には、東京大歌舞伎から、市川八百蔵など、関西歌舞伎から中村鷹次郎扇雀父子、菊五郎劇団の尾上梅幸などの名優が相次いで来演しました。

また、越原には日向座、五加には相生座と、村内三つの舞台が全盛を誇ったのは昭和三十年代後半までで、新しいレジャー文化の波の中で次々と姿を消して行きました。



名優の舞台となった
ありし日の神田座

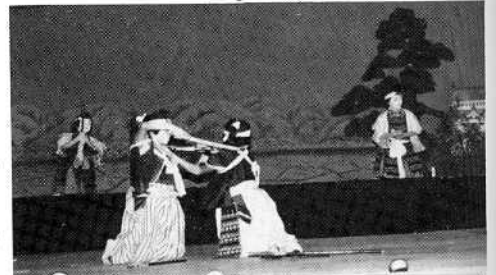
舞台は消えても、村芝居をなつかしむ気持ちは消えませんが、東白川村歌舞伎愛好会は昭和五十年郷土歌舞伎の復活を願う人びとの、熱い気持ちによって結成されました。

そして昭和五十二年九月二十九日、待望の第一回公演が実現したのであります。

このことを伝える当時の広報ひがししらかわ(二四号)は、「体育館のステージを広め、花道までつけ、舞台装置、大道具、小道具にいたるまで、すべて会員の手づくり。照明に映える舞台装置



子役たちでにぎやかな楽屋 (63年)



飯盛山に果てる白虎隊のラストシーン(63年)

「吉例」
「曾我対面」
「絵本太」
「巧記十段」
「目一尼」
「崎閉居の場」
「奥州安達ヶ原三段目」
「袖袷祭文の段」

それから十二年、歌舞伎愛好会は年々芸域を広め、実に四十二の芸題を上演して来ました。

今年のテーマは「孝行」

今年の芸題は冒頭にのべた飯盛山時雨、これは小学生男女十一名の熱演で万場を涙と拍手のうずりに巻き込みました。

続いて、老練から中堅、新人女性を交えての「一の谷戦軍記」と、奈良東大寺二月堂の良弁杉にまつわる物語りを劇化した「良弁杉子安由来」。

最後はご存知「義経千本桜」でしめくりました。いずれも親子の愛、孝行の情を演じて琴線に触れるものばかりでした。

歌舞伎という年寄りじみた古いもの、というイメージがありますが、いま私たちの村の郷土歌舞伎の良さは、子供から青年男女、中年から最年長は八十五歳までの、文字どおり老若男女の出演者と、これを支える手づくり裏方の皆さん。

そして、観客席に再現される昔ながらの村民交歓の姿こそ、現代が忘れてしまった貴重な何かを思い出させてくれる、本当のふれあいといえましょう。

今年始めて出演した中谷の村雲悠紀ちゃん(十歳・村義英

観劇・感激の・感想をひとこと

楽屋を訪れたOB

平の若井新一さん二女

若井佳子さん 二十一歳

私は中学二、三年と高校二年生の時に出演し、それからも欠かさず見にきています。

当時と比べて、子供のレベルがすごく上ったと思います。前の席のお年寄りの方は涙を流して感激してみえましたヨ。



平・若井新一さんの熱演(63年)

さん(長女)は、「今までも出たかったけど、やっと出演できた、チャンバラが面白かった」と頼もしい役者の弁を語ってくれました。



わざわざ名古屋から来て下さった高岡さん夫妻(左)と水井さん

オープンな雰囲気です。ラックアスできてとても良いです。

子供たちが走り廻るところなど最高ですね。

こうしてお酒を飲みながら、つろいだ感覚で観覧できるのが農村歌舞伎の最高の魅力です。たっぷり楽しめました。



恋人と姉に別れて、涙の出陣 白虎隊秘聞(63年)

会場で見かけた若いカップル上親田大坪一夫さん二男大坪孝さん一家 甥が出演したので始めて見ました。白虎隊はとて小学生とは思えないほどすばらしく、びっくりしました。 奥さんの感想……はじめて見たけど歌舞伎って面白いものですね。

来年も見にきたいワ。



お年寄りからへのボランティア

「年はとつても、まだまだ若いもんの世話にやならんと山や畑の仕事に精を出すお年寄りの皆さん。それを見守る家族や周りの人たち。

高令化社会が進む中で、思いやりの心が芽ばえ育とうとしていきます。若い人たちから「何かお手伝いを」という声が、そしてお年寄りからは「何かお礼を」とボランティアの輪が広がってきました。



△感謝状が食改協会長の加藤さんの手へ

九月十五日に開かれた老人まつりの会場に、青年団女子活動部の皆さんが、今年もボランティアの花を咲かせました。

「少しでもお役にたてることがあればやらせて下さい」と、老人まつりに参加して今年で三年目、お年寄りの手を引き、温い言葉をかけ、軽スポーツの入り退場などを手伝ってくれました。

また、第一回の老人まつりから弁当の手作りをして下さっている食生活改善推進協議会の皆



伸び伸びと準備運動—老人まつりにて

さんは、今年も村の予算で購入した三百二十人分の材料を、村民センター栄養改善室へ運び込んで、お年寄り向きの幕の内風弁当三百二十食を作っていました。

これに対して、村老連から御礼の感謝状が贈られ、和気あいの老人まつりでした。

日ごろのお礼に 白川清掃奉仕

お年寄りの間でも、「美しい景観のあるふるさとづくり」に一役を買おうと、昨年からは白川の清掃奉仕が行われています。

今年も九月二十日に、村内七つの老人クラブから二百八十五人の皆さんが参加して、地域集会施設の周辺や、道路から見て景観の妨げとなっているところを重点に、伸び放題に伸びたヤナギ切りや草刈り、ごみ拾いなどの清掃を行っていただきました。この清掃奉仕は毎年九月二十日に実施されます。来年、この奉仕の輪が少しでも広がっていることを期待したいものです。



△建設が進む西洞集会场付近を清掃

助役選任

人事異動の＝
＝お知らせ

役場人事異動

選出されることになっていきますので、九月二十九日開催の教育委員会議会で、田口芳宏さんが新しい教育長に選出され十月一日付で就任しました。

特別職と教育長の選任に伴う役場内の人事異動は次のとおりです。(十月一日付)

総務課長—今井恒行(税務係長)・民生課長—古田政春(総務課長)・教育課長—桂川眞弘(行政係長)・総務課行政係長—桶光一(保健係長)・総務課税務係長—安江弘企(農務課)・民生課保健係長—安江吉信(建設課)

田口教育長退任

また長い間、教育長として東白川村の教育のために尽された田口博さんが九月三十日の任期満了をもって退任されることとなりました。

田口教育長とともに任期満了となる教育委員の古田好夫さんは、今回の議会で再任され、新しい教育委員に前教育課長の田口芳宏さんが選任されました。

教育長は教育委員の中から



前教育長 田口博さん

田口博さんは昭和二十九年に東白川村役場へ入り、十三年間主として税務関係の事務に従事され、昭和四十七年十月に教育長に就任されました。

以来退任までの四期十六年間、小学校の統合など村の教育の振興に大きな功績を残され、この間加茂郡教育長会長を始め数多くの役職を歴任されました。

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番

三年越しで実った パイナップル

パイナップルが東白川村で出来たノうそではない、本当です。柏本の安江弘武さん(28)は店で売っているパイナップルの葉の部分を取り取って、クロツカスの水栽培の要領で発根させることに成功、冬は部屋の中やカーネーション温室で育て、三年越しで遂に実を成らせました。フルーツといえはほとんど輸入が常識のこのごろ、東白川育ちのこの果物、どんな味がすることやら……。

カラスにやつけられた鷹



写真提供者
嶋倉玄治さん

六月のある日、日向の嶋倉玄治さんの庭先へ大きな鳥が落ちて来ました。近寄ってみるとひん死の鷹です。空では二羽のカラスが勝利の歌をカーカーとうたっています。カラス二羽を相手にします。鷹は、無残にも空中に戦に敗れまもなく息を引き取りました。長男の大二郎君(七歳)がやっとなり上げた大鷹は、翼を広げると一尺以上。落下の際、電線に当たったのが幸いして外傷は少なく、今は土の中でやすらかに眠っています。それにしても近ごろのカラスは、強くなったものです。

一通のハガキで幸運を手にした ヨーロッパ旅行

九月十八日、ぎふ中部未来博覧会は、目標の二百五十万人をはるかに上回る四百七万四千五百十一人の入場者を迎えて七十二日間の会期に幕を閉じました。九月二十六日この最終入場者数を当てるクイズの発表が行われ、一番近い数字を出した人がなんと中通の村雲四郎さん

四女まり子さん(岐阜市在住21歳)でした。それも、わずか百七十五人少ないだけの回答。一通のハガキが、十三万分の一の確率の中でみごと八日間のヨーロッパ旅行を手に入れました。八月五日、パノラマ中部館三十万人目の宮代の古田わかささんに次ぐ幸運ニュースでした。

第20回村民親睦ソフトボール記念大会

二八チーム 四三三人が参加

九月といえば、ソフトボール大会と連想されるまでに村民に親しまれてきたこの大会も、昭和四十四年十一月に男女混成十六チームが参加して第一回大会を開催して以来、二十回を迎えました。

九月十八日、これを記念して第二十回村民親睦ソフトボール記念大会が開かれました。

参加した二八チーム、四百三十三人の選手は総合運動場ほか二会場に分かれ、集落の名譽をかけた熱戦の火ぶたが切られて落されました。

中でも、一般の部は午後の試合開始となり、準決勝、決勝ともにナイターで行われました。

◎成績
一般の部 優勝―教員



快速球ウィンドミル投法



2年連続優勝を果たした五加婦人クラブ

チーム▼二位―西洞、加舎尾、大口チーム▼三位―柏本、下野チーム・平東チーム ◎壮年の部 優勝―日向チーム▼二位―五加チーム▼三位―五葉チーム・平東チーム ◎婦人の部▼優勝五加チーム▼二位―大明神チーム▼三位―黒瀬、栃山チーム
◆過去二十年間の大会成績(一般の部優勝のみ)
44年平中・45年西洞、加舎尾、中谷・46年大沢・47年西洞、中谷、加舎尾・48年平下、大口・49年平東B・50年大沢・51年陰地B・52年平東・53年平東B・54年西洞、大口・55年平西・56年中通、神付・57年平中・58年平中・59年大口・西洞、久須見・60年親田・61年親田・62年西洞、加舎尾、大口

おしらせ



情報化月間

浄化槽は年一回の「法定検査」を受けましょう

近年、浄化槽の設置が増えており、その維持管理が十分でないために、悪臭の発生など近所迷惑や、川の汚れの原因となったり。浄化槽は生き物です。維持管理によって良くも悪くもなります。ところで、お宅の浄化槽の機能は正常に働いているでしょうか。

浄化槽法には浄化槽使用者の三つの義務があり、保守点検、清掃に加えて年一回の法定検査を受けなければなりません。この法定検査は、浄化槽が正常に働いているかどうかを「公正な立場で検査する」いわば年一回の健康診断といえます。法定検査は、岐阜県知事の指定を受けた財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（電話〇五八二一四七一―一三〇〇）が行っています。

今年から検査体制が整備されるすべての浄化槽が検査の対象になりましたので必ず受けましょう。

中学校体育館の「放送設備」が新しくなりました

東白川中学校の体育館は、学校教育はもとより、社会体育や各種行事などに幅広く利用されています。

この体育館の放送設備がこのほど「自治宝くじ助成事業」を受けて新しく整備されました。行事専用の施設が少ない本村では、中学校体育館が大きな役割を果たしており、その音響は重要なウエイトを占めます。

新しい放送設備によって、各種行事がより円滑に運営できると同時に、行事参加を通して人々のふれあいがさらに深まることが期待されます。

この施設が長く利用出来るよう、取扱上の注意を守り大切に使用しましょう。

岐阜県最低賃金が改正されました

岐阜労働基準局は、県内で働く全ての労働者に適用される「岐阜県最低賃金」を十月三日から改正しました。改正後の最低賃金は、月額三千八百一十八円（改正前三千七百

六円）時間額四百七十八円（改正前四百六十四円）となりました。この最低賃金は、臨時、パートタイマー・アルバイトなどといった雇用形態に関係なく全ての労働者に適用されます。

最低賃金の対象となる賃金は、ボーナス等臨時の賃金、休日、時間外などの割増賃金及び通勤手当（交通費）、家族手当、精皆手当などを除く、通常の所定

内賃金に限られています。

なお、著しく労働能力の低い方などで、岐阜労働基準局長の許可を受けた方については、適用除外することが認められています。

詳しいことは、岐阜労働基準局賃金課（岐阜市金竜町五一―三・電話〇五八二一四五―八一〇一）若しくは、最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

知識の税のおきお

マイホームと税

マイホームを取得すると、所得税が軽減される制度をご存知ですか。

「住宅取得等特別控除」がそれで、民間の金融機関や、住宅金融公庫などの公的金融機関から資金を借り入れて自分で住むための住宅を新築したり、増改築などをした場合、一定の条件を満たせば入居した年から最高二十万円が五年間にわたり所得税額から控除されます。

この控除を受けるためには、確定申告が必要で

す。ただし、サラリーマンの方は一年目に確定申告をする

またマイホームの取得資金を父母等からもらっても、その額が三百万円以下の場合には贈与税はかかりません。一方、マイホームを取得したときには、登録免許税や不動産取得税（県税）がかかります。

これからのマイホーム計画

この条件を満たせば

さて今年度、住宅の新築・増改築をされた方は、まず役場税務係へお訪ねいただき控除の適用が受けられるか確認いただく

とよいでしょう。また、これからマイホームの新築・増改築を計画されているお宅でも次の条件を満たすよう計画されれば、所得税控除の適用が受けられることになります。

- (一) 新築、購入または増改築等の日から六か月以内に入居し、引き続き居住していること。
- (二) 床面積（登記面積）が四十平方メートル以上であること。ただし二分の一以上が専用住宅であること。
- (三) その年の合計所得金額が三千万円以下であること。
- (四) 民間の金融機関や住宅金融公庫などの住宅ローンを利用していること。
- (五) 住宅ローン等の返済期間が十年以上にわたるもので、かつ、月賦のように分割して返済する方法によること。
- (六) 増改築等の場合は①建築基準法上の増改築であること。②工事費用が二百万円を超えること。③工事部分の二分一以上が居住部分であること。などが所得税の軽減を受けるための主な条件となっています。

今月の図書



女が愛に生きるとき 田辺 聖子

愛があると思うも錯覚、ないと思うも錯覚——愛の虚実しに心を乱し、愛ゆえにこそ、悪魔ともなり鬼ともなる女たち！ 軽妙にして辛辣、深遠にして痛快な読みものです。人によっては、女に生まれて損だと思われる方、反対によかったと思われる方いろいろな人生があると思いますが、この本を読んでいただき人は何のために生きるのか、もう一度考えてみられては……。

挑戦 冬の狼 北方 謙三

この深い闇のむこうに潜むものは…？ 複雑怪奇な現代の迷路の中で傷つきながらも愛し、闘い抜く若きビジネスマン！ 恋愛とえん罪をからめて鮮烈に描かれている推理小説で、読書の心が本の中にひきこまれて行く、楽しい読みものです。秋の夜長に是非読んでほしい一冊として紹介します。

ガマズミ (莢 蒨)

ガマズミは、東白川では、日当たりのよい山野なら普通に見られるスイカズラ科ガマズミ属の落葉低木です。東白川村では他の同種のものを含めて「ユウゾメ」と呼びます。五月から六月ごろ、コアジサイ（小紫陽花）によく似た白い花が小さな戻状につきます。「莢蒨の実」は秋の季節語になっており、ガマズミの名があるといえます。

オトコヨウゾメは分布の範囲が狭く、本州、四国、九州だけにあるようです。これらの中で東白川村に最も多く見られるのは、ガマズミとコバノガマズミです。実は、いずれも秋に赤く熟し



ますが、初霜が当たると甘酸っぱくなり食べられません。幼き日、夕日を仰ぎながら、無心にこの実をほうばった記憶に一抹の郷愁を誘われます。近ごろは東白川村の山も植林が進み、雑木林が少なくなりました。そのため、ガマズミもその仲間も簡単に見られなくなり、大切に保護したいものです。



ガマズミの仲間東白川村にも分布するものにコバノガマズミ（小葉の莢蒨）、ミヤマガマズミ（深山莢蒨）、ハクサンボク（白山木）、オトコヨウゾメなどがあります。

中でもガマズミ、ミヤマガマズミは北海道を含む日本全域はもちろん、朝鮮半島、中国大陸にも分布するようです。

また、コバノガマズミは福島県から南に、ハクサンボクは伊豆諸島から西に分布するようです。

また、コバノガマズミは福島県から南に、ハクサンボクは伊豆諸島から西に分布するようです。

オトコヨウゾメは分布の範囲が狭く、本州、四国、九州だけにあるようです。

これらの中で東白川村に最も多く見られるのは、ガマズミとコバノガマズミです。

実は、いずれも秋に赤く熟し

郷土に眠る名水・名勝・名木を求めて その7

鳥帽子形の大モミの木

九月号で取材したヒノキ・マツ・スギの三大木に続いて、今だにその姿が公表されずにいる巨木を求め探し回ったところ、

平の高橋を渡り前山林道を進むこと約十五分。林道の途中大きなカーブに差掛ったところで車を降り道なき道を山の横手づたいに進んだ。あたりは、降り続いた雨のせいもあってジメジメしており、密植されたヒノキの林は光をさえぎっていた。

平の森藤一郎さんから頼ってもらった情報に寄せられた。話しによれば、大人五人ぐらいた手がつき合せてやっと抱えられるほどの「大モミの木」が神土の宇鳥帽子形にあるということ、しかもそのモミの木は森さん宅から捨難山を望む、中復あたりにながめることができた。

谷の音が下の方から聞こえてきた。谷の音に誘われるように山を下ると、先導していた重秋さんから「あったぞお」という声とともに、大モミの木がその姿を現わした。なるほど大きい。重秋さんも「こんなデカイモミの木がまだ村にあったとはなあ」と驚くのもそのはず、地上へ出た根の高さだけでも重秋さんの体ほどはある。樹令は見当もつかないが、胸高直径一計六十センチ、胴回り五計。根元回りなんと五計五十センチという巨木。きつと後世に名を止める大木であろう。

このモミの木が、さらに巨木探しの夢をかき立ててくれた。

このモミの木が、さらに巨木探しの夢をかき立ててくれた。



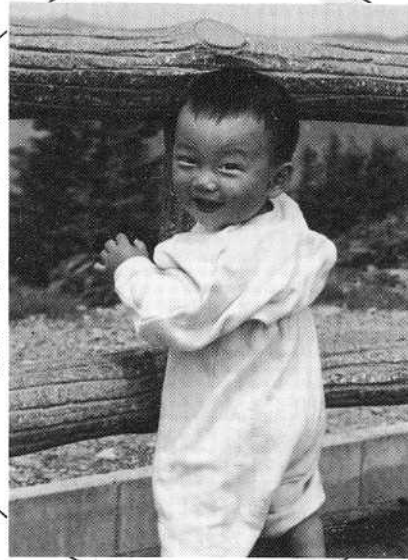
私の作品



▲出し入れワンタッチカーairo用ベスト
田口良子さん(平)

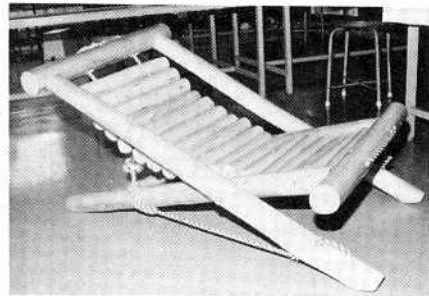


▲彫物(龍と虎)夏休みの作品
東白川小学校6年 田口房国さん(陰地)



菊田翼くん(一歳|陰地)
正敏さん・さゆりさん長男

すくすく育て



▲丸木イス(夏休みの作品)
東白川中学校
二年 安倍輝さん
(西洞)

短歌



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神戸伊藤重雄宛に出してください。

漸くに忘れ勝ちなる護国社の屋根葺替えに一口を献ぐ

安江 香

○床二つ並べて睡る伴せをしみじみと知る七十路となりて

安江 幸

長梅雨に冷夏つづきて広き田に稲は出来すぎ其処此処倒る

早瀬 勇造

○ふとこころに水を湛へて黒部ダム雄大なかな人の力は

村雲 うめ

らちもなき葛の花は思へどこの朝は紅紫の花を咲かせし

小池 弘子

○雨けふる信濃路行けば減反の田に蕎麦の花しろじろと咲く

伊藤 美枝

二株のピーマン成りてこの日頃煮もの焼もの明日は漬物

田口 一枝

残暑なる昼を何処かに雄鶏の声はひびきて刻を告げ居り

今井 かな

愛染の桂の霊木ロマンスの落葉拾へり旅情をぞろに

安江 龍玉

秋風は窓より入りておのづから幼き頃の歌口ずさむ

安江 節子

窓辺より眺むる谷に老女居て笹舟つくり孫と遊べり

早瀬 久子

松蟬の声沁むごとき朝夕べ臉を閉じて亡母の面を追ふ

安江 守平

七年の歳月をかけ杵を集め築き上げたたり黒部のダム湖

安江すみよ

夕霧に白木蓮の花浮きて夏に移ろふ真さびしきもの

古田よし江

○青く澄む黒部のダムは滔々と瀑布をなして深溪へ落つ

安江 澄

○地這胡瓜素直に支柱にからみつき風に揺れ居り支柱と共に

今井 弘恵

信濃路の美穂の稲の垣間には紅き林檎のたわわに続く

伊藤 重雄

軍馬用干草一面庭に乾し雷雨にあわてし夏の思ひ出

三戸 きり

核の笠のついでに食の笠かぶせ活殺自在をねらふ国あり

山川 洌

世のうつり厳しき中にうかうかと米寿いただき勿体なきかな

田口 良三